調査室紹介
～新任嘱託２名を迎えて～

調査室メンバー

後列左から	花﨑 浜子（48期）	中井 陽子（54期）
	佃　克彦（45期）	砂川 祐二（53期）
前列左から	鹿野 真美（53期）	杉山 和也（57期）
	川畑 大輔（52期）	相澤 和義（56期）

当会調査室には，８名の非常勤嘱託弁護士がいる。

調査室は，そのときどきの案件に応じて，単独あるいはチームを組んで職務を担当する。会員に一番身近な職務内容は，弁護士会照会請求手続の審査であろう。2007年度には，過去の蓄積をもとに『弁護士会照会制度―活用マニュアルと事例集―』〔第３版〕を出版し，好評を博している。そのほか，当会を被告とする訴訟の代理，会則や規則等の見直しに伴う整合性調査や条項案作成，会長から委嘱される個別案件の調査，会費免除申請の審査等を行い，常議員会等で説明のために立会することもある。なお，2007年度から，人権擁護委員会に申し立てられる人権救済案件を専門に担当する佃嘱託が就任している。

今年度の調査室には，昨年度まで嘱託を務めた中村嘱託（47期）と吉田嘱託（53期）に代わり，野球とテニスが得意なスポーツマン相澤嘱託（56期）と，ブルドックをこよなく愛す杉山嘱託（57期）のフレッシュな面々が加わった。調査室６年目で昨年度から引き続き室長を務める川畑嘱託（52期）は，持ち前のリーダーシップで調査室を引っ張り，同じく５年目を迎える花﨑嘱託（48期）は調査室きってのご意見番として，同じく３年目の鹿野嘱託（53期）と中井嘱託（54期）は中堅どころとして，それぞれ調査室を力強く支えている。調査室３年目の佃嘱託（45期）は，当会に集中している人権救済申立案件の対応に力を尽くし，砂川嘱託（53期）は，調査室２年目を迎え使命感を新たに職務に臨んでいる。

どうぞよろしく。